

ご担当者さま

12月初旬発刊

遠藤三郎日誌

仏国駐在武官日誌

吉田 曠二 著

旧日本陸軍中将遠藤三郎(1893～1984年)が、在仏大使館付武官在任(1926～29年)中、第1次大戦の最大の激戦地ヴェルダン、さらに仏軍が全滅したロッシニョル戦場を視察し、近代兵器が重大な人的被害を惹起することを実感。ジュネーブの国際連盟本部の英・米・日の3国の海軍軍縮会議で陸軍首席随員として参加するが、妥協点を獲得できず挫折する。ついでパリの陸軍大学校での「汎ヨーロッパ主義」の講義に感動する。こうした実体験が彼の日誌に詳述されている。

川成洋・法政大学名誉教授



C0330 A5判 344頁 19cm

プロローグ

臆病を良心とした日本陸軍の將軍
呉服商の息子からエリート軍人へ
遠藤日誌 第一号 高等二学年生

遠藤三郎 仏国駐在武官日誌

日程
フランスへ出発
パリ到着
メッツ防空学校入学
仏国陸軍大学校入学
地中海の旅に出発
パリに戻る

遠藤三郎 戦後第一回訪中日記

遠藤先生との思い出の記 高島敏明
遠藤三郎を研究して 張鴻鵬

ご注文は JRC へ FAX: 03-3294-2177

● JRC より全ての取次への出荷が可能です。 ● 返品は長期にお受けします。

ご注文申込書	貴店名・帳合	ご注文	発行：一般財団法人 アジア・ユーラシア総合研究所
		冊	遠藤三郎日誌 仏国駐在武官日誌 吉田 曠二 著 本体価格：2,500円+税 ISBN978-4-909663-45-0

発行：一般財団法人 アジア・ユーラシア総合研究所

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-1-12 桜美林大学千駄ヶ谷キャンパス1階